

## 「情報公開文書」

## 多機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。また当施設で収集された健診データの利活用に関しては一人ひとり文書および電子画面による同意を取得しております。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 機械学習的アプローチによる網膜構造パターン分類と認知機能スコアとの関連

### 1. 研究の対象

2000年4月1日から2023年3月31日の期間に日立健康管理センタにおいて網膜光干渉断層計(OCT)検査と認知機能検査(MSP-1100™)を受けられた方  
(網膜OCT検査は緑内障検診目的に広く施行される眼科検査です)

### 2. 研究実施期間

実施許可日から2026年3月31日まで

### 3. 研究目的・方法

アルツハイマー型認知症(AD)は進行性の脳内変性疾患ですが、適切な早期介入により進行予防が可能です。その一方、眼の健診で用いられる網膜OCTは網膜の立体構造を取得する光学的検査ですが、認知症では網膜OCT検査にて網膜変化を生じると言われています。そこで本研究では網膜OCT検査と認知機能検査のデータを取得することで、認知機能と関連の強い網膜変化パターンを明らかにし、認知症の早期診断に役立てようと思っております。この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、腹囲、人間ドックデータ（下記）

- ・ 認知機能検査（MSP-1100™）、網膜 OCT 検査
- ・ 自記式質問紙（生活習慣、家族歴、不安・抑うつ症状、ICT 利用）
- ・ 既往歴及び業務歴、自覚症状及び他覚症状の有無
- ・ 視力及び聴力の検査、眼軸長測定
- ・ 血液検査、血糖検査、尿検査
- ・ 心電図検査、血圧、脈拍、胸部エックス線検査、喀痰検査

試料：該当なし

#### 5. 研究組織

上記の情報について、研究実施のために下記機関から電子的配信により受け取ります。データ解析は、研究代表施設「東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学講座」にて行います。

研究協力機関および研究責任者名、連絡先

日立健康管理センタ センタ長 中川徹 0294-34-1020

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表連絡先／0463-93-1121 内線／2612）

研究責任者 東海大学医学部 深井航太

問い合わせ担当者 東海大学医学部 深井航太